

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年12月

ISO/TC61/SC13（複合材及び強化繊維）分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC13の構成

ISO/TC61/SC13は、繊維強化材料及び強化繊維・織物関係の規格の制定・改正等を担当している。幹事国は、日本で日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2006年より受諾している。議長も日本（石川隆司氏：名古屋大学教授）が受諾している。

Pメンバー（投票権有す）は、16カ国で昨年同様である。Oメンバー（オブザーバ）も13カ国で昨年と同様である。

表2のように二つのWG（作業グループ）が活動している。

表2-ISO/TC61/SC13のWG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	日本	強化繊維及び製品
WG 2	イギリス	複合材料

WGのコンビナーは、WG1は池崎公裕氏（三菱レイヨン株式会社）、WG2はDr. Graham Sims（英国）が務めている。SC13の活動は、日本が幹事国、議長を受託してから、プロジェクトも増加し活発化している。

本年9月に第61回ISO/TC61年次国際会議がスペインのバルセロナで開催され、同会議で制定・改正中の国際規格について審議を行われた。その状況についてWG（作業グループ）別に、日本提案を主に記述する。（規格の名称は簡略して示す）。

2. ISO/TC61/SC13の審議事項

(1) WG1

a) 改正中規格（全て日本提案）は以下の通りでFDISからの改訂。

ISO 1887（ガラス織物燃焼物）

ISO 2113（織物仕様）

ISO 2797（ガラス織物ロービング仕様）

ISO 3616（ガラス織物厚さ）

ISO 10122（チューブラープレート仕様）

b) 制定中規格（日本提案）

ISO/DIS13931（炭素繊維体積固有抵抗）

計画している追加RRTについて審議しRRTと並行してFDIS投票を進めることとなった。

c) 2012年 Systematic Review

5規格が見直し投票され、日本がPLとなり次の2規格を改正することとなった。

ISO5025（織物長・幅試験）

ISO10548（炭素繊維サイズ含率）

(2) WG2

a) 改正中規格は以下の日本提案 **ISO 1268-7** を含む2件。

ISO 1268-7（面内せん断弾性率）

ISO 14127 (炭素繊維のポット率)

b) 制定中規格

日本提案の2件を審議 **ISO/DIS12817** (CFRP 有孔圧縮強度) Draft FDIS を審議し投票に進めることが確認された。

ISO/DIS30012 (CFRP 粉砕品形状) RRT 試験計画を説明しこれを進めることを確認された。

その他英国提案で次の2件を審議

ISO/DIS12815 (CFRP プレインピンベアリング)、**ISO/DIS15114** (FRP モードII タフネス)

c) 2012 年 Systematic Review

10 規格が見直し投票され、下記4規格の改正提案を審議し全て再検討となった。日本からの改正提案は、ISO 1268-8 の1件。

ISO 527 (繊維強化プラスチックの試験)

ISO 1268-8 (SMC・BMC 圧縮成形)

ISO 14129 (平面せん断応力)

ISO 14130 (層間せん断力試験)

3. ISO/TC61/SC13 の規格発行

23 年の改正発行規格は以下の通り。

ISO 2559 (ガラス織物マット仕様)

ISO 3342 (ガラス織物引張強度)

ISO 3598 (ガラス織物糸仕様)

ISO 4604 (ガラス織物曲げ剛性)

ISO 4900 (ガラス織物接触成形性)

以上